

## 「ユネスコスクール研修会」開催される

8月27日(月)、九州大学准教授の稲葉美由紀先生、宮城県気仙沼市教育委員会参事兼指導主事の及川幸彦先生を講師にお招きして、ユネスコスクール研修会が開催されました。

中友小学校、延命中学校の実践発表の後、お二人の先生方に講話をしていただきました。

稲葉先生は、地球規模の問題は一つの国で解決できないこと。社会福祉を進める上で必要なボランティア精神を、なるべく早い時期から体験を通して育てる事の大切さなどについて話をいただきました。

及川先生からは、ユネスコスクールを通したESDの推進について、これまでの経過や進め方、体制づくりについて、気仙沼市での実例を挙げながら説明をしていただきました。



## 「ユネスコスクール便り」発行にあたって

大牟田市に於いては、これまで各学校が生活科や総合的な学習の時間等を中心に取り組んでいた「環境教育」や「福祉教育」等が、大牟田市の特色ある教育としても、また、持続可能な社会を構築していくための教育としても大変有意義な内容であるとして、市内全小・中・特別支援学校でユネスコスクールに加盟し、ESD(持続発展教育)に取り組むこととなりました。

現在、各学校に於いて、これまでの取り組みを整理しながら実践していただいているところです。

そこで、各学校の実践や全国的な動向等を紹介するために、「ユネスコスクール便り」を発刊することとしました。各学校で参考にしていただけましたら幸いです。



## 大牟田市立中友小学校の実践

### 子ども民生委員活動を通して

地域の力を借りながら、「持続可能な社会づくりのための担い手」をつくっていきたいと考え「子ども民生委員活動」に取り組んでいます。年間を通して民生委員さん方と子どもたちが校区の高齢者とかかわる活動を行っています。子どもたちは普段している挨拶や言葉かけを更に丁寧な心を入れて行うことで、「心と心がつながる」ことに気付かされていきました。

「40年後、今度はあなたたちが『民生委員』になってほしい」という民生委員さんの言葉に込められた思いを大切に、この活動を継続させていきます。



## 大牟田市立延命中学校の実践

### 豊かなつながりのある体験による学びを通して

延命中学校では、総合的な学習の時間「学びの旅」や生徒会活動、各教科における学びと学びをつなぎ、持続可能な社会の担い手づくりをすすめています。

1年生「身近な伝統文化の伝承」は、2年生の修学旅行に関連した「日本の伝統文化に学ぶ」へ、1年生「認知症学習・校区探索活動」は、3年生の「幼稚園・保育所訪問」、2年生のキャリア教育「職業人に学ぶ(講話)」は、3年の「職場体験学習」へ、各学年の「学びの旅」における学びと学びをつないでいます。その他、生徒会活動では、人と人、人と社会をつなぐ取り組みとして「ダルニー募金」や「プルタブ回収活動」をすすめています。



今年1月21日に開催された「ユネスコスクール子どもサミット」では、1年生が「認知症学習・校区探索活動」について報告し、「誰にとっても住みよい大牟田にするための4ヶ条」を提言しました。